

Bonjour à tous. みなさま、こんにちは！

今年もまた梅雨の季節を迎えましたが、いかがお過ごしですか。アンスティチュ・フランセ東京は6月15日(月)より再開館しました。不自由な状況の中、皆様の強い意志とサポートのおかげで春学期を終了することができました。受講生の皆様には心より感謝申し上げます。通信事務局でも段階的に通常体制に移行して参ります。

最後の課題の添削答案と一緒に成績表も同封いたしました。夏学期の学習計画にお役立てください。また夏学期にお目にかかれることを楽しみにしております。



■ 春学期の質問サポート最終受付締切日

質問サポートの受付は、**7月10日(金)必着分まで**受け付けます。(メール soutien@institutfrancais.jp ・ FAX ・ 手紙)

★学期の終わりは質問が集中するため、お時間をいただくことがありますのであらかじめご了承ください。

★お名前、受講生コード、コースコードに加え、2020年春学期(2020P)の記載をお願いいたします！

■ 通信ネット上の模範解答について

春学期の全模範解答、課題、音声ファイルなど閲覧は、6月26日まで通信ネット上でご覧いただけます。答案未提出で模範解答を受け取っていない方で、紙版の模範解答およびニュースレターをご希望の方は事務局までご連絡ください。

■ 最終答案提出日以降に届いた答案の添削について

受講生ガイドにも明記されていますように、最終答案提出日6月9日以降に届いた答案は添削できません。答案と模範解答と一緒に返却しますので自己採点していただき、疑問点があれば、7月10日までにメールでご質問ください。

■ 2020年夏学期のお申込みについて

夏学期のお申込み受付中です！

コース選択にお迷いの方はお気軽にご相談ください。

開講期間：6月29日(月)～10月2日(金)

インターネットからのお申込みには「通信ブティック」↓をご利用ください。



★ **tsushinboutique.com** ★

RECHERCHE	検索
› カテゴリから選ぶ	
全てのコース・教科書	▼
› コース、教科書名から選ぶ	
3CGD1	
検索	

通信ブティックからのオンライン申込みは、これまで通信・オンラインの講座のみを扱っておりましたが、この度、通学コースの講座も追加されました。お申し込みの際は、コース名をお間違いのないようご注意ください。トップページの左上にある検索枠(←左図)でコースコード(例：3CGD1)を入力されると素早くご希望の講座のページに遷移できます。コースコードは、アンスティチュ東京のHPまたは通信講座パンフレットをご覧ください。



Histoire de mots le soleil

Sébastien Jaffrédo
N° 30

L'été commence, c'est le moment de parler du **soleil** ! Ce mot vient du latin **soliculus**, dérivé de **sol**, « soleil ».

Voyons d'abord quelques mots apparentés.
夏が始まり、「soleil」（太陽）について話す絶好の機会となりました。この単語は、ラテン語の「sol」（太陽）から派生した「soliculus」から来ています。関連語をいくつか見てみましょう。

solaire 太陽の	Cet adjectif relatif au soleil vient du latin solaris , issu de sol . 太陽に関係するこの形容詞は、ラテン語の「sol」から派生した「solaris」から来ています。
parasol パラソル	Mot emprunté à l'italien au 16 ^e siècle (<i>parasole</i>), de parare (« protéger ») et sole , « soleil ». On voit que la forme italienne est plus proche du latin que la forme française. 16世紀にイタリア語の「parasole」から借用され、「parare」（護る）と「sole」（太陽）からできています。イタリア語の語形はフランス語よりもずっと、ラテン語の語形に近いことがわかります。
tourne-sol ヒマワリ	Cette fleur ne se tourne pas vers le sol (sauf la nuit !), mais vers le soleil , dans sa forme italienne sole ou espagnole sol . この花は地面(le sol)に「se tourner」（向く）ことは、(夜を除いて！)ありません。そうではなく、「soleil」（イタリア語「sole」あるいはスペイン語「sol」から派生）に向かうのです。
souci キンセンカ	Il ne s'agit pas ici du souci comme « inquiétude », sans rapport étymologique, mais de la fleur (キンセンカ), qui comme le tournesol, est héliotrope : son nom latin est solsequia , « qui suit (<i>sequi</i>) le soleil ». 「心配」を意味する「souci」とは別物です。語源的にも関係がなく、ヒマワリと同じ、向日性の花の方です。ラテン語名は「solsequia」、「sol（太陽）を sequi（追う）」という意味です。

On remarque donc que, à la différence de l'italien ou de l'espagnol, le français n'a pas conservé le mot latin **sol** mais a préféré le diminutif **soliculus** (« petit soleil ») avec un aboutissement en **-eil**. C'est aussi ce qui s'est passé avec le latin **auris** (« oreille »), dont le diminutif **auricula** a donné **oreille**, mais aussi pour d'autres mots. Amusez-vous à retrouver les exemples donnés dans le tableau suivant.

ここで気づくのが、イタリア語やスペイン語と異なり、フランス語はラテン語の「sol」を保持せず、その指小辞（※*maison* の *maisonnette* など）である「soliculus」（小さな太陽）を選び、「-eil」で終わる形をとったということです。これはラテン語の「auris」（耳）で起こったのと同じことで、指小辞である「auricula」が「oreille」をもたらしました。そのような単語はまだあります。次の表で、ほかの例も見つけてみましょう。

ラテン語	ラテン語の意味	派生形	フランス語に至った形	日本語
sol	« soleil » (太陽)	soliculus	soleil	太陽
auris	« oreille » (耳)	auricula	oreille	耳
artus	« membre » (手足)	articulus		爪先
apis	« mouche à miel » (蜂)	apicula		蜂
somnus	« somme » (睡眠)	somniculus		睡眠
buttis	« tonneau » (樽)	buticula		瓶
par	« égal » (等しい)	pariculus		同じ
cornix	« corbeau » (カラス)	cornicula		カラス

Réponses : *orteil, abeille, sommeil, bouteille, pareil, corneille*

Image, de gauche à droite : tournesol, figure du roi-soleil sur la grille du château de Versailles, fleur de souci